

西武新宿線
中井駅
 周辺
 都営地下鉄大江戸線

2018.
2.23金
 ~ **25**日

染の小道

Someno Komichi

落合・中井を染め物で埋め尽くす!

おかげさまで

10
年!!

妙正寺川に
 「反物」
 を架ける
川
 の
 ギャラリー

開催時間:
 各日 10時~17時
 (設営・回収含む)
 雨天中止

約
300
 m

計
108
 作品

商店街を
 「のれん」
 で飾る
道
 の
 ギャラリー

開催時間:
 各店舗の営業時間

10回目を迎える「染の小道」、楽しいイベント盛り沢山♪

開催日程：2018年2月23日(金)24日(土)25日(日)の3日間

於：西武新宿線・都営地下鉄大江戸線「中井駅」周辺



大正時代から川沿いに染色産業が集まっていた新宿区の落合・中井。昭和30年代までは妙正寺川で反物を洗っていました。その記憶を現代に蘇らせる「川のギャラリー」。そして商店街の店舗など100を超える軒先を、手染めの“のれん”で飾る「道のギャラリー」。この2大企画を中心に、本格的な展示や染色体験から、各店舗の独自企画まで、まちじゅうが盛り上がる3日間！ここでは実行委員会主催の企画を中心にをご紹介します。

10年間の感謝を込めた特別企画！

2/25



つくり手を身近に！
「染の街のキモノショー」

@落合第五小学校

伝統を受け継ぐプロの染色作家から、可能性を秘めた学生の作品まで。着物とそこに込められた物語を、ショー形式でお届けします。

大募集！



落合・中井にちなんだ“十の色”

あなたが思う「色の名前」と「その説明」をセットでお知らせください。

発表は2018年2月の染の小道当日。

十色に選ばれた方にはステキな記念品を贈呈します。

例：西武黄金…西武新宿線といえばやっぱり黄色ですよ！

詳しくはこちらから ▶ <http://someko.info/10colors>

当日に向けて、まだまだ楽しい企画を準備しています！

2/24

2/25

「染のがっころ」

@落合第二小学校

いろんな種類の染色体験が大集合！

- ・ 絞り、型染め (新宿区染色協議会)
- ・ みんなで一反の布を染める「千人染め」



「染の王国・新宿」展示会

2/24(土)25(日) @落合第五小学校

伝統の技を引き継ぐ、新宿区染色協議会の職人たちの作品が大集合。着物や帯など繊細な手仕事を、作品や実演で間近にご覧いただけます。



前回は満員御礼！
公式ガイドツアー

予約制のツアー。

染色の街の醍醐味をくまなくご案内します！

English Guided Tour is available! (Reservation required)

コースの詳細、ご予約は <http://someko.info/2018tours>

(受付開始は2018年1月以降を予定しています)

年間イベント

一反をみんなで染める

百人染め

「川のギャラリー」に展示する反物の一部は、地元町会や公共・福祉施設などでのイベント、小学校の授業の一環として製作しています。

2018年参加団体(予定)：落合第二小学校 / 落合第三小学校 / 落合第五小学校 / 落合第六小学校 / 落合第三幼稚園 / 中落合子ども家庭支援センター / 西落合図書館 / あゆみの家 / ぼほのいえはいくえん / 上落合中央町会 / 新宿産業観光フェア2017 / 千人染め (2017年染の小道実行委員会で製作)



染の小道サポーター『こみち隊』

あなたも落合・中井の染色文化に触れてみませんか？
「こみち隊」はあなたの参加を待っています。

www.somenokomichi.com/komichi



We attempt to cheer up our town based on dyeing.

「染の小道」は、落合・中井地域の染色関連業と商店街、街の人々などの有志が集まり、ボランティアで運営しています。



募集中 スタッフ&サポーター

10th Anniversary

各企画は2017年10月時点の予定です。予告なく変更・中止になる場合があります。

「びまわりさわむ」という意味

職人探訪「きものGOTTAKU」 実行委を設立 来年5月17、19日開催へ

来年5月17、18、19の3日間わたって開催されるきもの工場等見学会「職人探訪」十日町きものGOTTAKUの実行委員会設立総会と第一回会議が先月26日、クロスアン中ホールで開催され、工場見学会参加14企業や関係団体、市や商工会担当者、事務局の県十日町地域振興局担当者ら20人余が参集。実行委員長には市観光協会長でもある青柳の青柳安彦社長が就任した。また同イベントを含め、5月を中心にしたきもの月間として打ち出していく方針だ。



就任挨拶する実行委員会長の青柳氏

冒頭、県十日町振興局 拡大を目的に人を呼ぶべきの高橋和巳局長は「地域もプロジェクトを進め資源を活用した交流人口でできました。その一環と

してきもの工場見学会を主体とするイベントを企画。十日町はきもの総合産地で幅広いきもの関連を一手に担っている地域。伝統、歴史、技術の蓄積もある地域の宝。多くの皆様地域の誇りであるきもの良さを知って頂き、それが十日町地域の魅力にもつながるよう、振興局も皆様と共に総力を上げ取り組んでまいりたいと呼びかけた。

就任した青柳会長は「初めてのことを起すのはなかなか大変なこと。県十日町地域振興局に業界として厚く御礼を申し上げます。人を呼び工場を見て貰うのは全国的にも多くなり、最近では自治体を含めて地域を出す方法として行っている。企業・業界としても大きなメリットがある。消費者の皆様から色んな意見・気づきがあり、それを参考に物づくりと企業としても利益。お客様は普段全く経験しないもの。両方良かったというイベント。三条燕で大々的に行い成功している。十日町はきものが題材。文化、歴史も活かしながら実施が必要ではないか。新しい取組みのスタート。成功に向けて業界関係者だけでなく、地域全体で取組みを進めることが必要。キルト展も5月に行つた。集中して実施し連携していくことと調整会議を立ち上げた所で、やぶをさき、細い道を作り、回を重ね広い道になっていくことを目指してやっていきたい」と決意を示していた。

初の市防犯パトロールの出発式 特別ゲストにきもの女王の品田さん



全国地域安全運動(先月11日から20日まで)に開催して、十日町市防犯パトロール出発式がこのほど、十日町市役所正面駐車場で開催された。出発式で関口市長は「新潟県ではこの運動の10日間を犯罪の無い安全で安心のまちづくり旬間と位置付けている。出発式は新たな試み。特別ゲストとしてきもの女王の品田涼花さんをお迎えし華を添えて頂いた。十日町関係は非常に珍しく新鮮味がある。今治タオル美術館は年間40万人、収益50億円位の例もある。受益満足を顧客側価値のマッチングをどうするか。和服を着る機会、和服を歩いてみたいまちづくりなど、工場だけでなくエリア全体で考える必要がある。お客様の属性意識も大事。職人が語る場、人を育てていくことも大事ではないか。全国的に希少価値のある取組み、頑張って頂きたい」と期待していた。

事故に遭わない、起こさない 第18回交通安全大会を挙行政

十日町警察管内の交通事故件数と負傷者数が大幅に増える中、第18回交通安全大会が先月21日、中条中学校で挙行政された。管内では高齢者関与の死亡事故や重大事故が多発しており、先月19日には交通事故死亡事故ゼロが続いていた中里地域で死亡事故が発生。378人、378台が参加した。この日は約760人が参加。鈴木登十日町地区交通安全協会会長が管内の交通安全の状況を説明しながら「超高齢化社会になり、ドライバーと高齢者

文化ホール開館記念特別演出「光り織」

3日夜、東側の雁木アート作品で
越後妻有文化ホール、十日町市中央公民館設けらるるのオープンを祝い3日午後4時半から9時まで、文化ホール東側雁木に設置された高橋匡太氏のアート作品「光り織」でオープニング特別パ

ジョンが披露される。100枚の雁木に組み込まれたLEDの様々なバリエーションを駆使し、光で織りなす光のインスタレーション、特別な光の織が演出される。
「やまんなかマルシェ」5日、飛渡公民館
「やまんなかマルシェ」秋の手仕事ワーク

ショップ&飛渡汁祭り」が5日、午前10時から午後2時まで飛渡公民館で開かれる。アクセサリーやちんこ等のワークショップ、地元野菜たっぷりの汁物等の飲食販売など。飛渡第一小児童が作ったお米の販売も行われる。問い合わせは実行委員会 福島さん(電話0900-9966-4500)まで。

絵として 記念式典



ける参集者

地に教会堂を建設、戦時中の1944年に十日町市初の乳幼児施設となる十日町幼児園を、1974年に山本愛泉保育園を設立し、2001

国の宗教を信じる者として厳し時代を体験して成り、神様、どうぞ導いて下さい」と話した。新井牧師は「日本のプロテスタント教会の中で

く導い勤めを喜びをもつて成り、神様、どうぞ導いて下さい」と話した。新井牧師は「日本のプロテスタント教会の中で

企画展

いと

糸を組む

あなたの知らない

くみ ひも

組紐の世界



2017 10/26 (thu)

2018 1/21 (sun)

開館時間 午前9時～午後5時

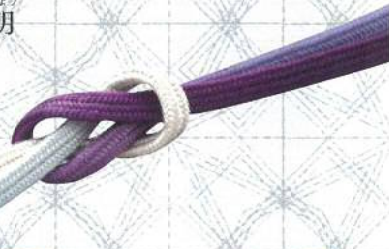
(製糸工場・まゆちゃん工房は
9時～12時、13時～16時)

休館日 水曜日、祝日の翌日(11/4、12/24は臨時開館)、
12/29～1/3

会場 岡谷蚕糸博物館
—シルクファクトおかや—
企画展示エリア

主催 岡谷市

協力 ゆうそくくみひも どうみよ
有職組紐 道明





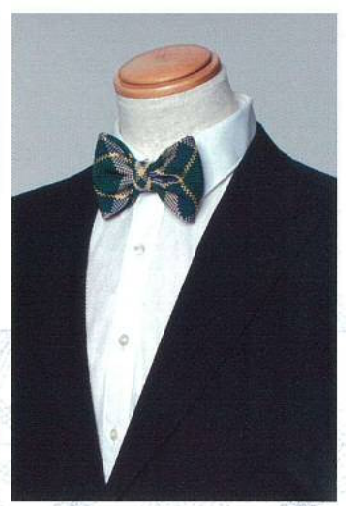
法隆寺 唐組垂飾 飛鳥時代(復元)
技法:唐組



平緒 平安時代(復元)
技法:唐組、段染め



大籠 平安時代(復元模型)
技法:亀甲組 他



ボウタイ"バタフライ" 現代
技法:安田組



企画展

糸を組む

あなたの知らない くみひも 組紐の世界

和服の帯締めなどに使われる組紐は、時代とともに用途、デザインが変化してきました。組紐の製法は、糸を斜めに交差させながら紐状にしていく「組み」の技法で、組み目が美しくそりい伸縮性があることが重要です。そのため「絹」が最適な素材として使われ続けています。

今回の展示では、伝統の技法で製作を続ける「有職組紐 道明」の現代の製品や歴史的な名品の復元品等を展示します。奥深い組紐の世界をご堪能ください。

会期中イベント

有職組紐 道明 道明三保子氏 トークイベント

1652(承応元)年創業の「有職組紐 道明」で、道明古式糸組法教処長を務める道明三保子氏を講師に迎え、組紐の歴史や技法についてお話を伺います。道明氏は文化女子大学教授、文化学園服飾博物館学芸室長を経て、現在文化学園大学名誉教授。



日時: 2017年11月11日(土) 午後1時30分~

講師: 道明三保子氏

会場: 岡谷蚕糸博物館

定員: 30名(要申込み)

参加費: 無料 (要入館料 一般500円/
中高生300円/小学生150円)

内容: 講義・ギャラリートーク

本格派! 初めての組紐 -ストラップをつくる-

丸台を使用して、本格的な組紐の製作を体験します。

日時: 2017年11月12日(日) ①午前11時~午後1時 ②午後2時~4時

講師: 道明三保子氏、道明組紐教室講師

会場: 岡谷蚕糸博物館

定員: 各回15名、合計30名(要申込み)

参加費: 2,000円



かんたん! くみひも体験

特別な道具を使わずに、手で絹の糸を組んでいく組紐体験です。

日時: ①2017年12月2日(土) 午後1時30分~

②2018年1月7日(日) 午後1時30分~

会場: 岡谷蚕糸博物館

定員: 各日15名(要申込み) 参加費: 500円



会期 2017年10月26日(木)~2018年1月21日(日)

会場: 岡谷蚕糸博物館 -シルクファクトおかや- 企画展示エリア

開館時間: 午前9時~午後5時 (製糸工場・まゆちゃん工房は9時~12時、13時~16時)

休館日: 水曜日・祝日の翌日(11/4、12/24は臨時開館)、12/29~1/3

入館料: 一般 500(400)円、中高生 300(200)円、小学生 150(100)円

*カッコ内は10名以上の団体料金。

*岡谷市内・諏訪郡内在住・在学の小中学生、
岡谷市内在住・在学の高校生は入館無料。

〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8 Tel.0266-23-3489

<http://silkfact.jp/> シルクファクトおかや 検索

交通の案内

電車の場合: JR中央線岡谷駅下車 タクシーで5分

お車の場合: 長野自動車道 岡谷ICから車で5分(駐車場有)



丹後ちりめん創業 300 年事業、

日本遺産「丹後ちりめん回廊」魅力発信事業が進行

2020年「丹後ちりめん創業300年」に向けた複数の織物業振興事業に加え、日本遺産認定を契機とし、地域内外に向けて歴史ある産業をはぐくんだ文化・伝統の発信、産業観光施策を京都府、近隣市町、海の京都DMO等と協力し一体的に推進しています。

文化
歴史

日本遺産認定記念シンポジウム

丹後ちりめん地域を活性化

シンポジウムでは、基調講演を行った日本遺産プロデューサーの生駒芳子さんが、「日本各地には、日本らしい文化や素晴らしい文化財がまだまだ眠っている。それらを日本遺産として掘り起こすことで、文化財を保護するだけでなく活用することができ、地域活性化につなげられる」と述べ、全国の日本遺産認定地域での取

り組みについて紹介しました。続いて行われたパネルディスカッションでは、観光大使の太川陽介さんや「ねこプロジェクト」代表の田中智子さんのほか、丹後織物工業組合の松本理事長、与謝野町文化財保護委員会の小野会長がパネラーとして登壇。それぞれの立場から、丹後ちりめんを活用した地域活性化について意見を交わしました。

また、芝生広場ステージでは、シンポジウム開催を祝い、「ちりめん小唄踊り」などの伝統芸能も披露されました。



高校生によるプロジェクションマッピングファッションショー

今後、市内の日本遺産の構成文化財の看板設置や3月には小学生を対象とした日本遺産のストーリーをたどる体験型の学習会を開催する予定です。

世界で活躍するファッションデザイナーのリビアさんとヤッセンさんが10月30日、「丹後ちりめん創業300年事業」の一貫でフランスから来丹し、峰山高校弥栄分校を訪れました。この訪問は、2人が丹後町の民谷螺細の民谷共路さんを通じて丹後ちりめんを知り、丹後の織物を使った衣装をパリコレクションで発表した縁があったことから実現しました。

全校生徒による歓迎集会を体育館で行った後、和室に移動し、手作りの和菓子と抹茶を振る舞いました。フランスでもよく日本食を食べるといふ2人は、お茶の作法を興味深く聞き入っていました。その後、家政科2・3年生のディスプレイ実習を見学した2人は生徒に新しい発想と発信力の大切さについてアドバイスしました。

交流の最後に生徒から「丹後ちりめんの魅力は何ですか?」と質問された2人は「たくさんあって語りつくせないが、長い歴史で培った技術がとても素晴らしい。パリコレクションで発表した衣装は丹後ちりめんの歴史にひらめきを受けて制作した。長く続いてきた歴史をこれからも情熱をもって伝えていってほしい」と答えていました。

世界的なデザイナーが来校 交流で丹後ちりめんの魅力を再認識

10月30日
弥栄町



パネルディスカッションの様子



右/お茶の作法を聞くりビアさん(左)とヤッセンさん(右)
左/ディスプレイ実習で生徒にアドバイスするヤッセンさん

日時..12月3日(日)午後1時30分～

(受付開始は午後1時～)

会場..富岡市役所議会議棟3階32会議室

世界遺産講演会

富士山と甲斐絹かいぎ～富士山が育んだ文化と産業～

基調講演

①「富士山に集う心ー御山参詣と山もとの生業ー」

講師 堀内眞さん(山梨県立富士山世界遺産センター調査研究スタッフ)

②「幻の織物『甲斐絹』が生まれた山梨ハタオリ産地の歴史と今」

講師 高須賀活良さん(東京造形大学非常勤講師、武蔵野美術大学講師、織物産地山梨県富士吉田・西桂総合ディレクター)

サンドアート

パフォーマー サンドアートデュオ エミユレヌエツト

*サンドアートとは指で細やかな砂を操り、リアルタイムで物語を紡ぐパフォーマンスです。



堀内眞さん



高須賀活良さん

費用 無料

定員 100名(先着順)

申し込み方法

11月17日(金)までに、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号

⑤参加人数を記入の上、電話、ファクス、はがき、Eメールで富岡製糸場戦略課へ

※締め切り日前でも定員に達した場合は受け付けを終了します。

申し込み・問い合わせ

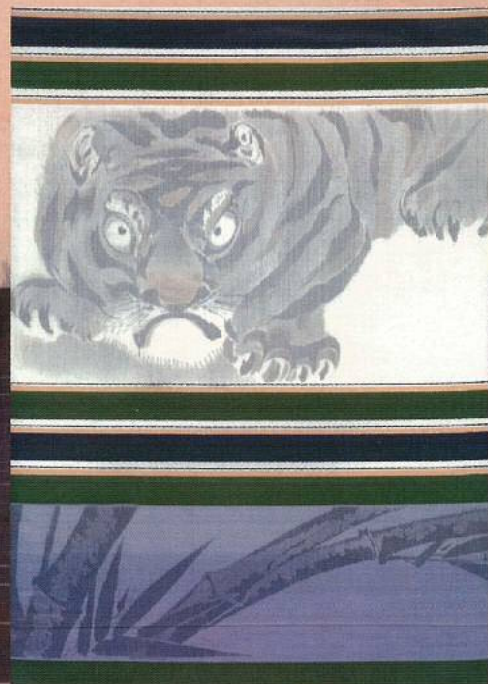
富岡製糸場戦略課「世界遺産講演会」宛て
〒370-2316 富岡市富岡 1-1

TEL: 0274-64-0005 FAX: 0274-64-3181

Eメール: worldheritage@city.tomioka.lg.jp

かいき 富士山と甲斐絹展

世界遺産に登録されている「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」及び富士吉田市の伝統的絹織物である「甲斐絹」に焦点を当てた企画展を実施します。



期間：平成29年12月2日(土)

～平成30年1月8日(月)

(初日10:00～)

場所：富岡製糸場東置繭所内

料金：無料(別途、富岡製糸場入場料が必要になります。)



○展示内容○

- ・世界遺産「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」パネル他
- ・甲斐絹の関係展示
- ・吉田の火祭で使用されるたいまつ(たいまつ)のレプリカ
- ・富士吉田市とフランス共和国シャモニー・モンブラン市との姉妹都市交流関係展示
- ・富士吉田市の織物展示・販売
- ・富士吉田市の観光PRコーナー

平成29年12月10日(日)～平成30年1月4日(木)、富士吉田市「ふじさんミュージアム」で、富岡製糸場・富岡シルクブランド協議会の関連展示を実施します。

富士山折り紙ワークショップ in 富岡製糸場

【日時】平成29年12月9日(土)・12月10日(日) 2日間

9:30～12:00、13:30～15:30

※随時受付、随時開始、参加費無料、どなたでも参加いただけます。

【会場】富岡製糸場東置繭所 「富士山と甲斐絹展」会場内

主催：富岡市

共催：富士吉田市

後援：群馬県・群馬県教育委員会・富岡市教育委員会・富岡シルクブランド協議会

協力：山梨県産業技術センター 富士技術支援センター

命名します！

ソワイユー

デスタン

Soyenx Destins

「絹が結ぶ縁」という名のセルドンワイン、生まれました！



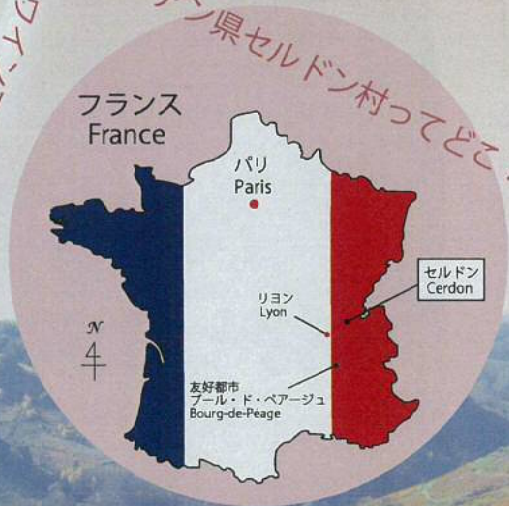
アペリティブ、乾杯、クリスマス、バレンタイン、パーティなど祝いの席にもぴったり！

フランスの中でキラキラ輝くルビー色のスパークリングロゼワインです。

蓋のように上品でなめらかな泡

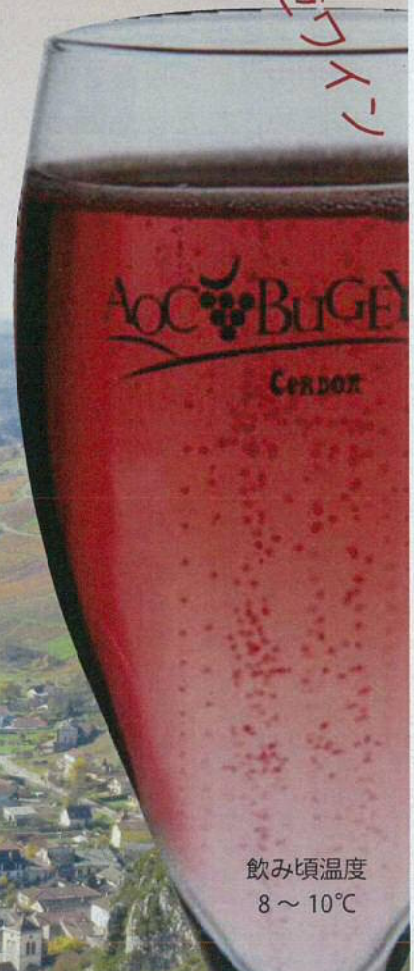


アン県セルドン村ってどこ？



どんな品種なの？

フランス南東部アン県
ビュジェ地方の丘の斜面
で栽培された「ガメイ」
というぶどう品種。



飲み頃温度
8～10℃

世界遺産・富岡製糸場

1871年、富岡製糸場の設立指導者ポール・ブリユナが、300釜の繰糸器械の調達や技術指導者の雇い入れのため、フランスのリヨン北東部アン県を訪れました。スパークリングロゼワインの産地でもある、アン県ビュジェ地方にあるセルドン村には、富岡製糸場創業時の繰糸器械部品を製造した銅工場が現存しています。

近年、富岡市とセルドン村との絆が深まり、セルドンワイン生産者が新たな会社「Terra Vina」を立ち上げました。そして、2017年10月8日、「Soyeux Destins」という名のスパークリングロゼワインが誕生しました。1世紀半の時を越えて再会した日仏の縁に乾杯といきましょう！

醸造：メトード・アンセストラル
タンクで低温での部分的な発酵を行い、アルコール度数の低いワインを造ります。ワインはフィルターがけをされ、ボトル詰めされた後も残っている酵母によって、ボトル内で自然な発酵が起こり、泡が形成されます。沈殿物を取り除いた後、ボトルは最終的に封印されます。セルドンワインは、この醸造方法を尊重して造られる数少ないフランスワインです。

品名：中辛口スパークリングロゼワイン
AOC(原産地統制名称)：
ビュジェ・セルドン メトード・アンセストラル
生産者：アリアンス テラ・ヴィナ
添加物：酸化防止剤(亜硫酸塩)
アルコール度数8% 750ml
プロデュース：富岡市
輸入元：(株)ジャパンインポートシステム
販売元：(株)まちづくり富岡



ドメーヌ・ヴュシェ社

DOMAINE VUCHER

セルドンの最も古い生産者のうちの1つで、3世紀にわたり親から子へと情熱が受け継がれ、現在、エリック・ヴュシェ氏がドメーヌを率いています。

10ヘクタールの畑で造られている品種のガメイは豊かな味わいで、日当たりが良い急斜面の、石灰質粘土の土壌で栽培されています。年間を通して、丁寧なケアがぶどうにほどこされており、収穫、醸造、ボトル詰めの手すべてをドメーヌで行っています。

テラ ヴィナ

Terra Vina の2つの生産者

彼らの情熱は、ぶどうの品質、環境、収穫、醸造、ボトル詰め、顧客への心遣いなど、すべてに注がれています。



ランゴマルタン社

LINGOT-MARTIN

何世代にも渡り、この地でワインを造ってきたランゴ家、マルタン家、ポリエ家の3家族が1970年に立ち上げました。石灰質粘土の斜面に、16ヘクタールの畑を所有し、ポンサン村、メリニャ村、ジュジュリユー村にも及びました。

現在は、ポリエ氏、2006年に加わったギヨン兄弟、引退したマルタン、ランゴ夫人たちに任されたヴァレ氏が経営しており、40ヘクタールの畑に、ガメイ、プルサールの2つの品種を栽培しています。

富岡製糸場のルーツを巡る旅



リヨン近郊・パリ

8日間

2017年11月12日(日)～19日(日)



2014年6月「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産一覧表に記載され、2015年11月、富岡製糸場設立指導者のフランス人ポール・ブリユナの生誕地であるブル・ド・ペアーージュ市と富岡市は友好都市協定を締結しました。

これを記念し、富岡製糸場と関わりの深いフランスの関連施設を訪問し、見聞を深めると共に市民レベルの交流を推進するため、富岡市訪問団による「富岡製糸場のルーツを巡る旅」を実施いたします。

映画「紅い櫻～富岡製糸場物語～」のロケ地やパリ、リヨンの世界遺産も訪れます。

明治5年創業当時の富岡製糸場繰糸器を製造したセルドン村の銅工場とワインカーブ、富岡製糸場のモデルになったと言われているボネ絹工場訪問など、通常のフランス旅行では行くことができない富岡市訪問団特別ツアーです。



説明会申込先：富岡市世界遺産部富岡製糸場戦略課企画広報係
〒370-2316 富岡市富岡 1-1 TEL 0274-64-0005 FAX 0274-64-3181
worldheritage@city.tomioka.lg.jp

(キリトリ線)

「富岡製糸場のルーツを巡る旅」説明会申込書 (8/17 必着)

ふりがな	〒	—	説明会参加希望日 どちらかに○をつけてください。
お名前	ご住所		
電話番号	備考欄		8月18日(金) <午後6時> 8月19日(土) <午後2時>

旅行期日：11月12日(日)～19日(日) 5泊8日

訪問先(予定)：

- 友好都市ブール・ド・ペアージュ(ドローム県)、市庁舎、生誕地記念碑見学
- 富岡製糸場関連施設：ボネ絹工場(アン県)、セルドン銅工場(アン県)
- 観光：中世の街ペルージュ、セルドンワインカーブ、世界遺産「リヨン歴史地区」
絹織物の街クロワ・ルース地区、リヨン織物装飾芸術博物館等絹関連施設
世界遺産「パリのセーヌ河岸」(エッフェル塔、ルーブル美術館等も含まれます。)
ポール・ブリュナの眠るペール・ラシェーズ墓地ほか

応募資格：市内在住・在勤者

参加費用：28万円程度 朝食・昼食付【2名1室利用の場合】

※上記参加費用のほか、夕食代、空港諸税、燃料サーチャージ、保険料等が別途かかります。

定員：20名～30名程度(最小催行人員15名)

参加希望者を対象に下記日程で説明会を実施します。

日時：8月18日(金)午後6時(1時間程度)

8月19日(土)午後2時(1時間程度)

場所：富岡製糸場(食堂)

※電話、メール、ファクス、郵送のいずれかで

8月17日(木)までに申込みください。

※掲載のツアーは、このチラシでのお申し込みを受け付けておりません。
説明会時に資料をお渡しいたします。

【旅行企画・実施】

株式会社JTB関東

観光庁長官登録旅行業第1578号一般社団法人日本旅行業協会正会員

〒330-6016 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2

11月第3木曜日
ボージュレ・ヌーボ解禁日を
フランスで!

BUGEY GERDON

~SOYEUX DESTINS~



富岡市長

ブール・ド・ペアージュ市長

~絹が結ぶ縁~

